

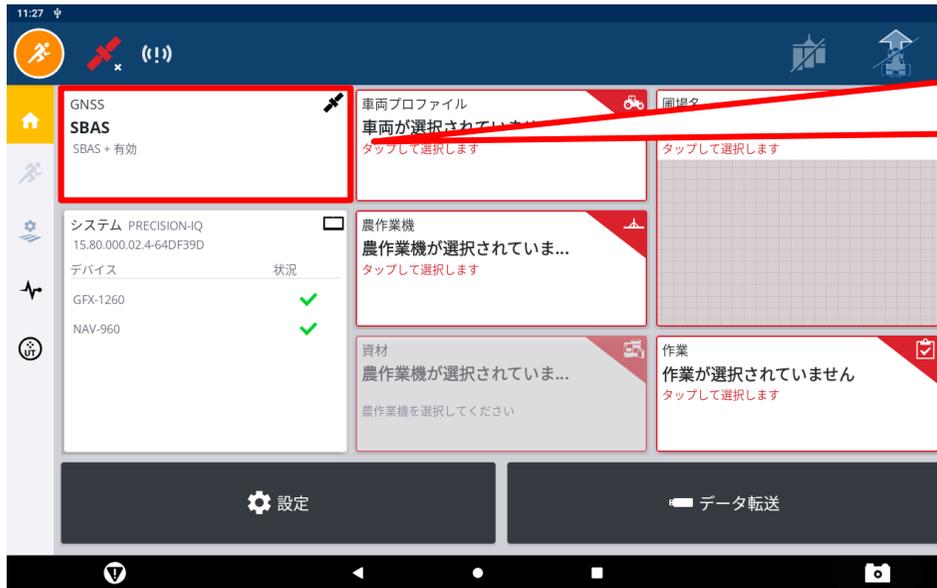


Trimble GFXシリーズ

GNSS設定 RangePoint RTX編

FW15.81 (2026.03.04)

GNSS設定 RangePoint RTX編



GNSSをタップ



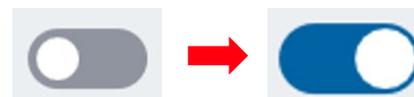
編集をタップ

GNSS設定 RangePoint RTX編 「補正」



「補正情報元」
→ 「RangePointRTX」を選択

「IONOGUARD」※2を有効にする



「位置情報の品質」→ 「精度優先」を選択

※受信状況に応じて選択が必要な場合があります

「精度優先」

精度品質が確保されたのちFixする

「作業開始優先」

精度品質よりFixを優先

「バランスのとれた品質」

精度優先と作業優先の間

※1 「MSSモード」「レーダー出力」は変更せず、上記画像の設定のままにする。

※2 「IONOGUARD」

電離層におけるGNSS信号の遅延やゆがみを軽減する機能です。

「衛星システムの選択」

→全ての衛星を有効にする

GNSS設定 RangePoint RTX編 「セットアップ」



セットアップ をタップ

「配信方法」は
「自動」のまま変更しない

「衛星ID」
→ 「アジアおよび大洋州」を選択
※周波数1545.2725 ボーレート1200

衛星ID
現在の位置から自動的に選択された周波数
カスタム周波数
アフリカおよび中東 (周波数 1546.2100) (ボーレート 1200)
アジアおよび大洋州 (周波数 1545.2725) (ボーレート 1200)

GNSS設定 RangePoint RTX編 「セットアップ」



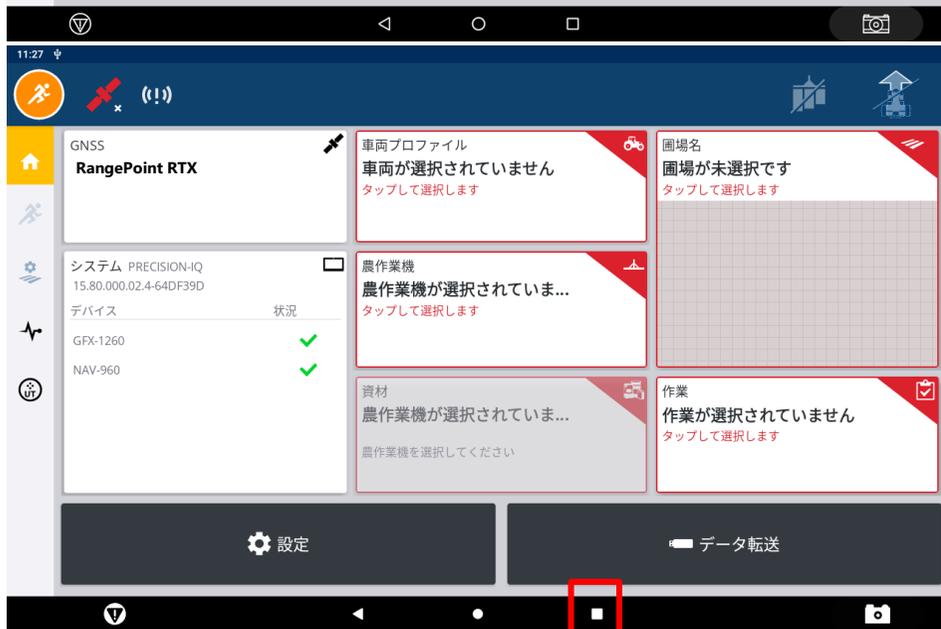
保存をタップ

GNSS設定 RangePoint RTX編



戻る

をタップし、ホーム画面に戻る



PIQアプリを終了し、電源を切る

→電源を入れなおし、次の設定へ

電源の切り方

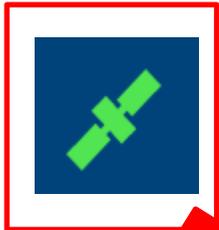
- ① ディスプレイ下部の  をタップし、PIQ画面スワイプして終了する
- ②  電源ボタンを短く一度押す
- ③  電源を切る をタップする



- ・衛星が補足できていない状態



- ・衛星は補足できているが数が少ない状態
または、補正情報が未受信の状態



- ・衛星数を多く補足できている状態
かつ、補正情報も正確に受信出来ている状態

緑色になったことを確認し、作業を開始してください
※車両プロファイルの設定が必要です